

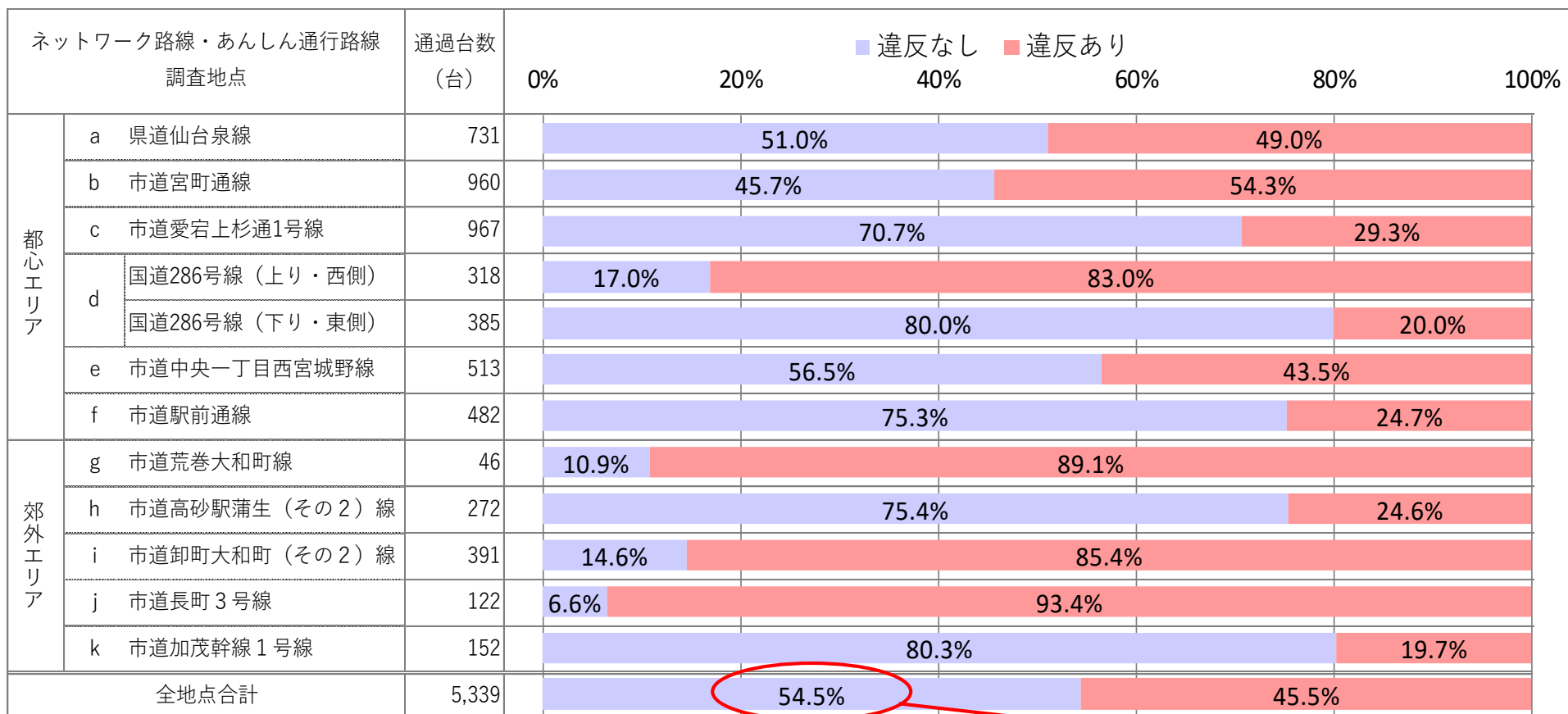
地点ごとの自転車利用に関する遵守率

- 1 調査地点別違反有無割合
- 2 調査地点別違反内容割合
- 3 地点別の詳細
- 4 まとめ



1 調査地点別違反有無割合

- 自転車のルール・マナー利用実態は自転車ネットワーク路線・あんしん通行路線より選定した11地点における違反状況を計測し、原則として毎年度同じ地点で調査を実施している。
- 調査地点によって違反「有」の割合や違反内容に差異が見られた。

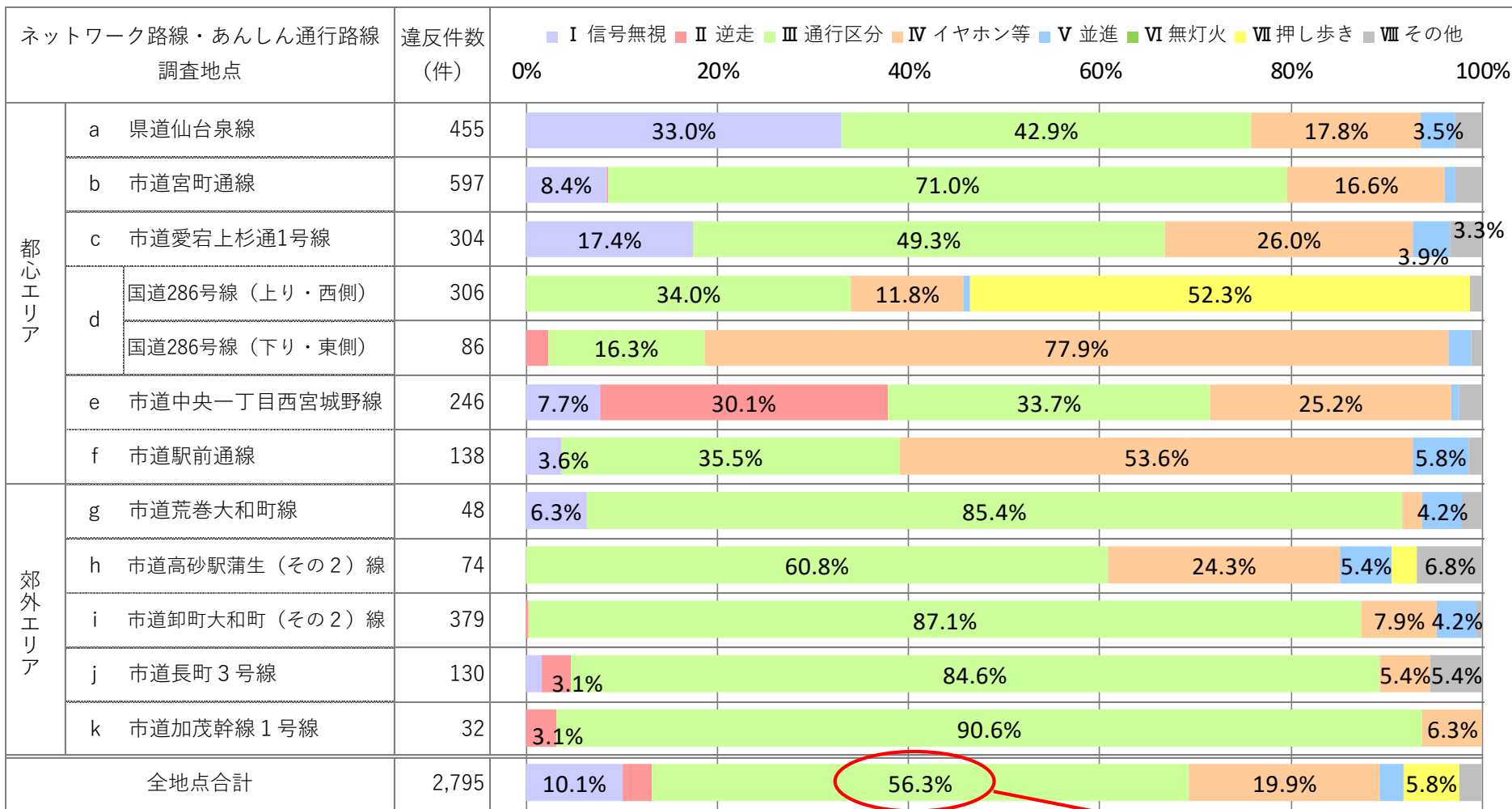


(令和4年度 自転車安全利用実態調査(自転車のルール・マナー実態調査)より作成)

全体の遵守率

2 調査地点別違反内容割合

令和4年度

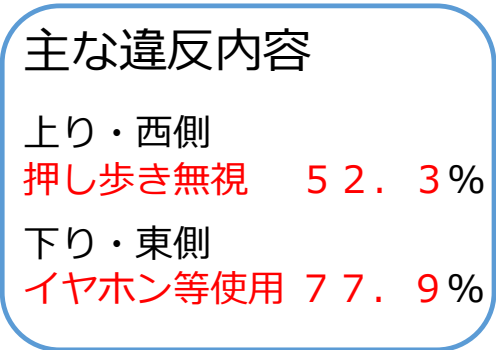
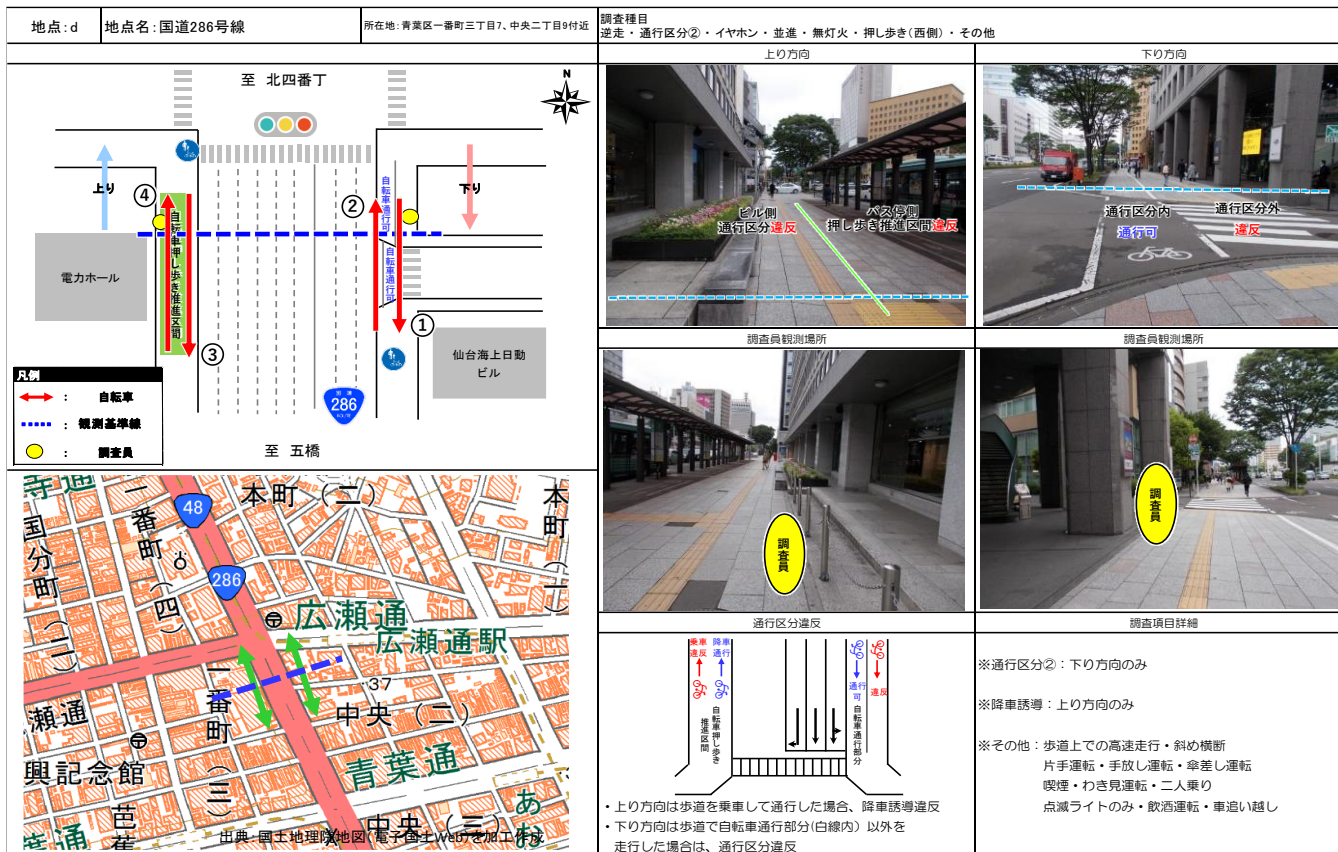


数値は3%以上を表示

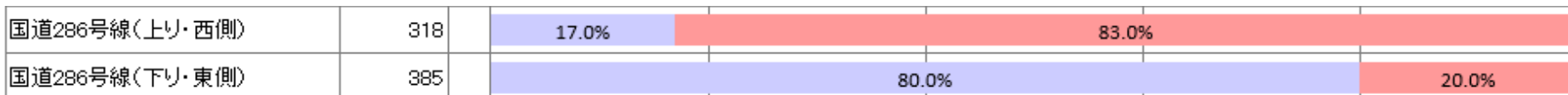
(令和4年度 自転車安全利用実態調査(自転車のルール・マナー実態調査)より作成)

全体で最も多い割合を占めた違反は「通行区分違反」

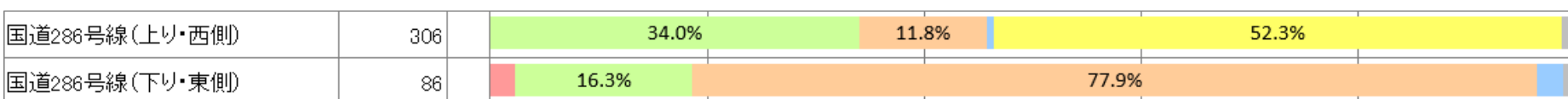
3 地点d 国道286号線（西側・東側）



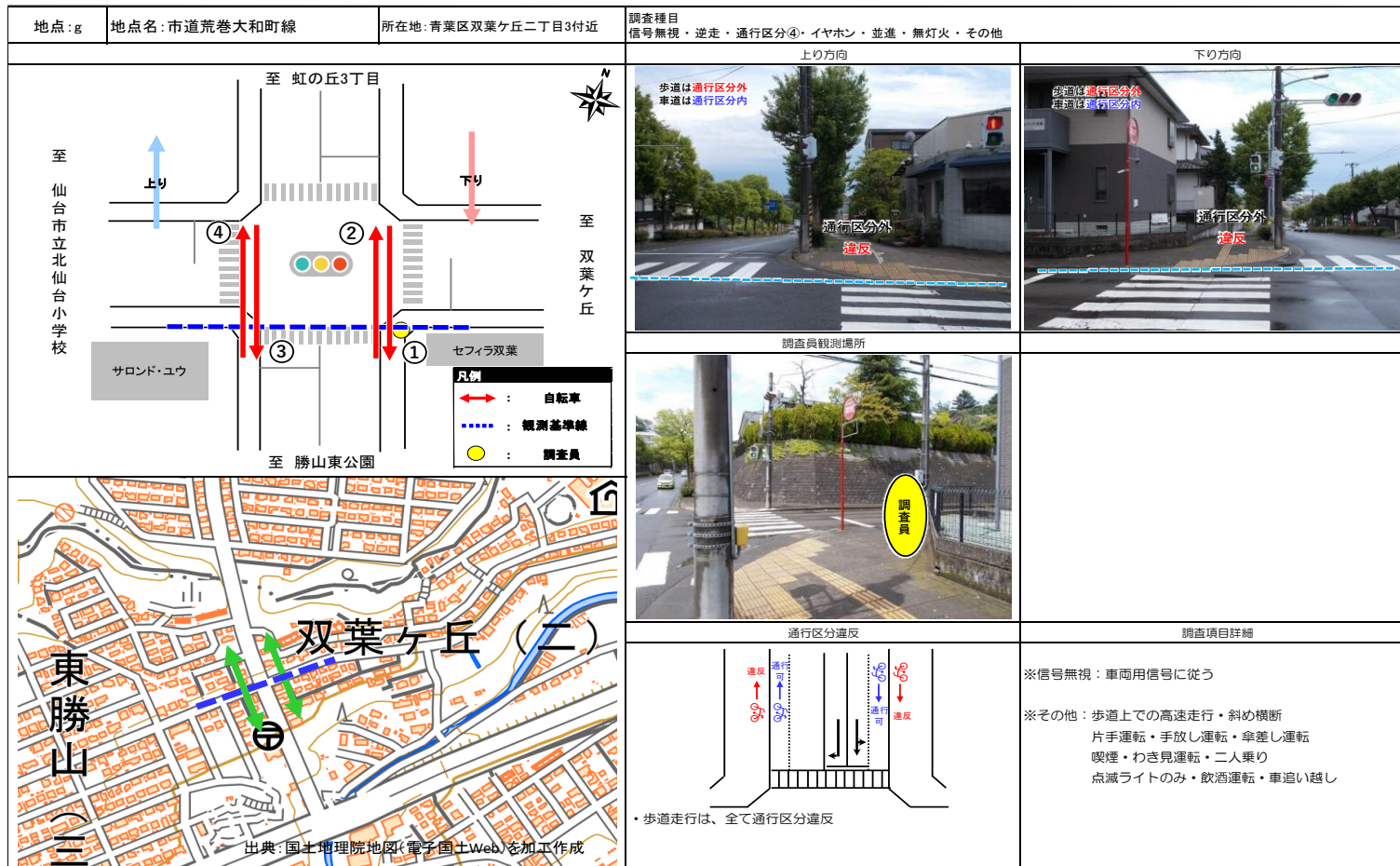
調査地点別違反有無割合 ■ 違反なし ■ 違反あり



調査地点別違反内容割合 ■ I 信号無視 ■ II 逆走 ■ III 通行区分 ■ IV イヤホン等 ■ V 並進 ■ VI 無灯火 ■ VII 押し歩き ■ VIII その他



3 地点g 市道荒巻大和町線



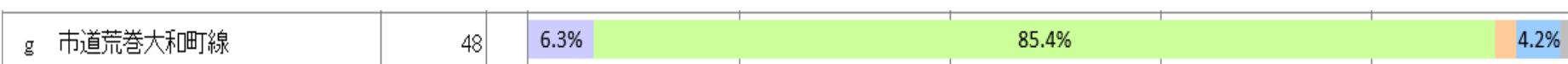
違反率
89.1%

主な違反内容
通行区分違反
85.4%

調査地点別違反有無割合 ■ 違反なし ■ 違反あり



調査地点別違反内容割合 ■ I 信号無視 ■ II 逆走 ■ III 通行区分 ■ IV イヤホン等 ■ V 並進 ■ VI 無灯火 ■ VII 押し歩き ■ VIII その他



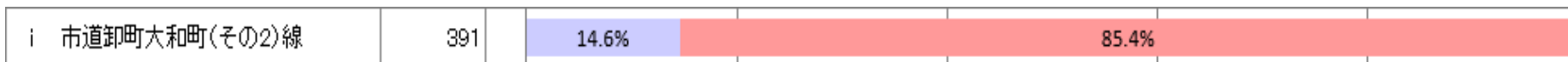
3 地点 i 市道卸町大和町線

地点:i	地点名:市道卸町大和町(その2)線	所在地:若林区卸町付近	調査種目 逆走・通行区分④・イヤホン・並進・無灯火・その他
			<p>上り方向</p> <p>調査員観測場所</p>
<p>至 卸町センター前交差点</p>			<p>下り方向</p> <p>調査員観測場所</p>
<p>凡例</p> <ul style="list-style-type: none"> ←→ : 自転車 ⋯ : 観測基準線 ● : 調査員 			<p>調査員</p>
<p>出典:国土地理院地図(電子国土Web)を加工作成</p>			<p>調査項目詳細</p> <p>※その他: 歩道上での高速走行・斜め横断 片手運転・手放し運転・傘差し運転 喫煙・わき見運転・二人乗り 点滅ライトのみ・飲酒運転・車追い越し</p> <p>・歩道走行は、全て通行区分違反</p>

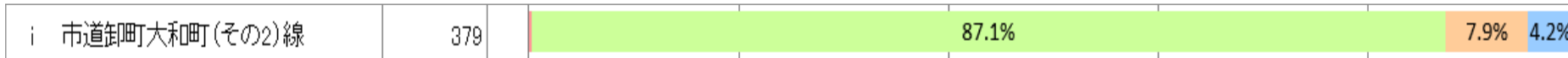
違反率
85.4%

主な違反内容
通行区分違反
87.1%

調査地点別違反有無割合 ■ 違反なし ■ 違反あり



調査地点別違反内容割合 ■ I 信号無視 ■ II 逆走 ■ III 通行区分 ■ IV イヤホン等 ■ V 並進 ■ VI 無灯火 ■ VII 押し歩き ■ VIII その他



3 地点j 市道長町3号線

地点j	地点名:市道長町3号線	所在地:太白区長町三丁目付近	調査種目 信号無視・逆走・通行区分④・イヤホン・並進・無灯火・その他
		<p>調査項目詳細</p> <p>※信号無視：車両用信号に従う</p> <p>※その他：歩道上での高速走行・斜め横断 片手運転・手放し運転・傘差し運転 喫煙・わき見運転・二人乗り 点滅ライトのみ・飲酒運転・車追い越し</p> <p>・歩道走行は、全て通行区分違反</p>	

違反率
93.4%

主な違反内容
通行区分違反
84.6%

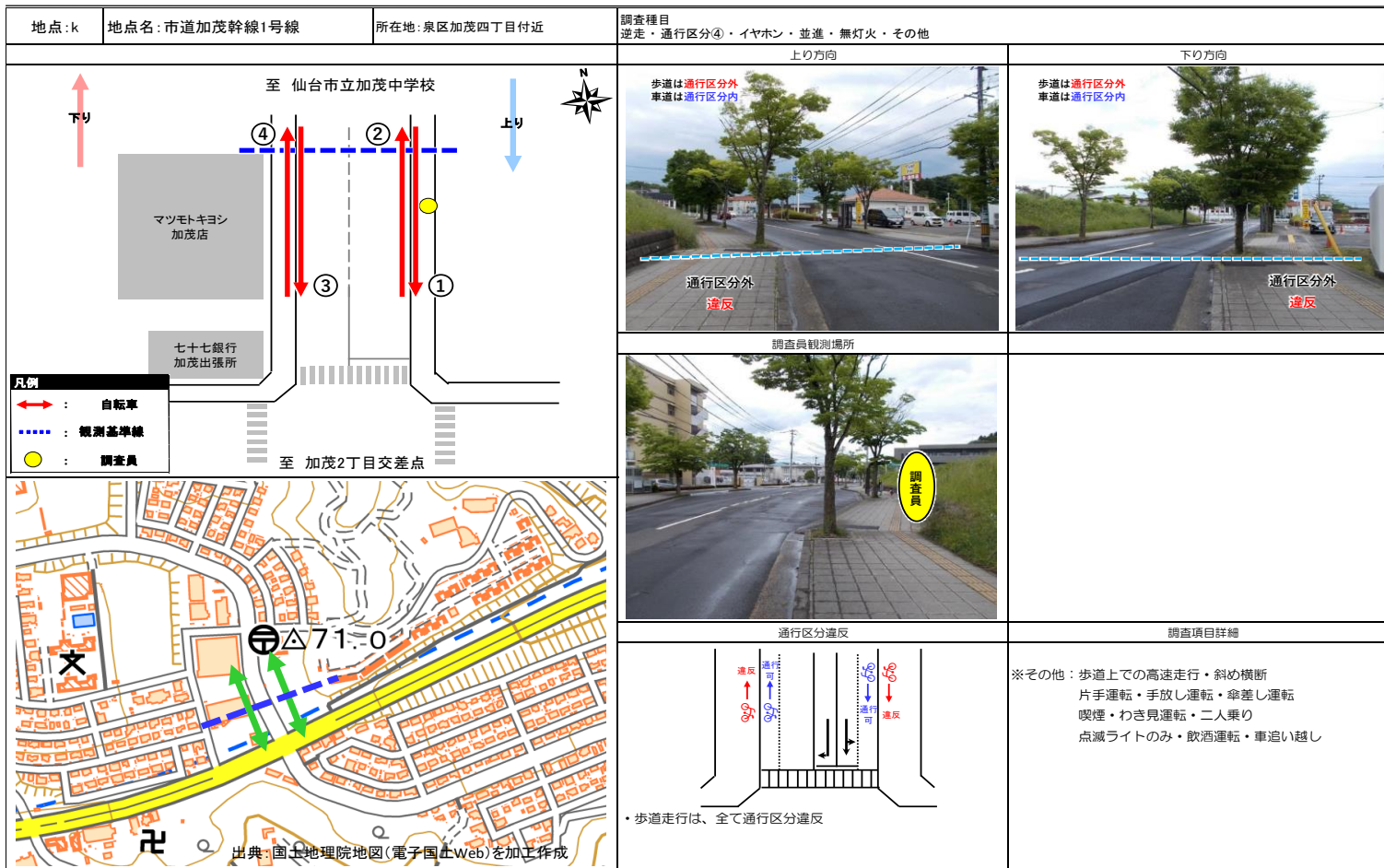
調査地点別違反有無割合 ■ 違反なし ■ 違反あり



調査地点別違反内容割合 ■ I 信号無視 ■ II 逆走 ■ III 通行区分 ■ IV イヤホン等 ■ V 並進 ■ VI 無灯火 ■ VII 押し歩き ■ VIII その他



3 地点k 市道加茂幹線1号線



違反率
19.7%

主な違反内容
通行区分違反
90.6%

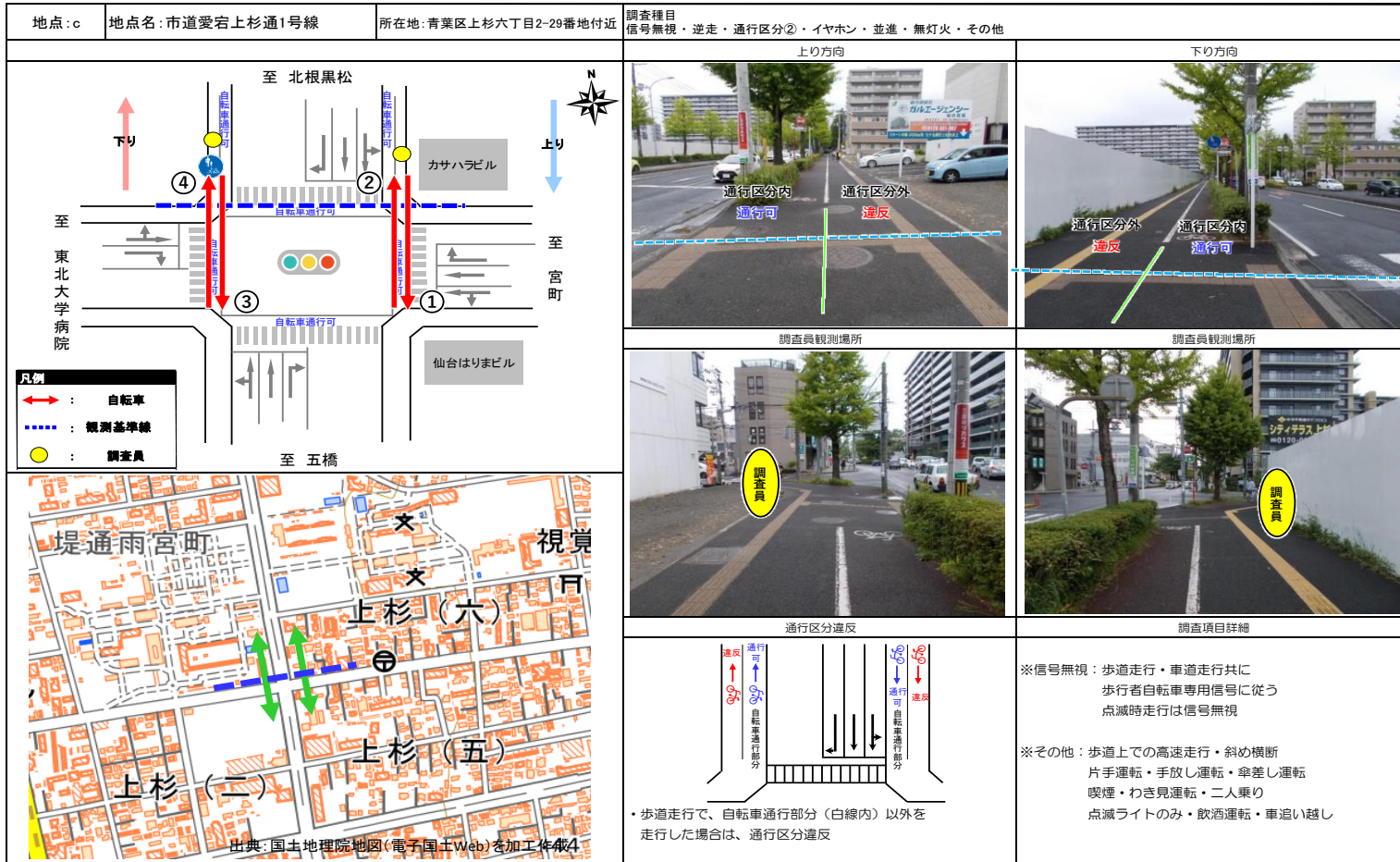
調査地点別違反有無割合 ■ 違反なし ■ 違反あり

k 市道加茂幹線1号線	152	80.3%	19.7%
-------------	-----	-------	-------

調査地点別違反内容割合 ■ I 信号無視 ■ II 逆走 ■ III 通行区分 ■ IV イヤホン等 ■ V 並進 ■ VI 無灯火 ■ VII 押し歩き ■ VIII その他

k 市道加茂幹線1号線	32	3.1%	90.6%	6.3%
-------------	----	------	-------	------

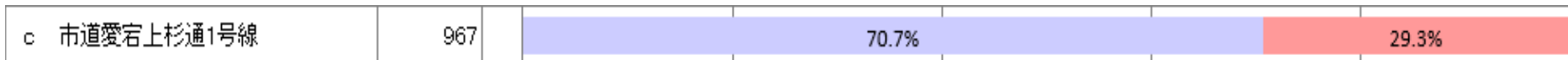
3 地点c 市道愛宕上杉通1号線



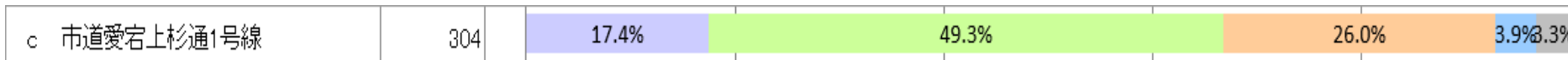
違反率
29.3%

主な違反内容
通行区分違反
49.3%

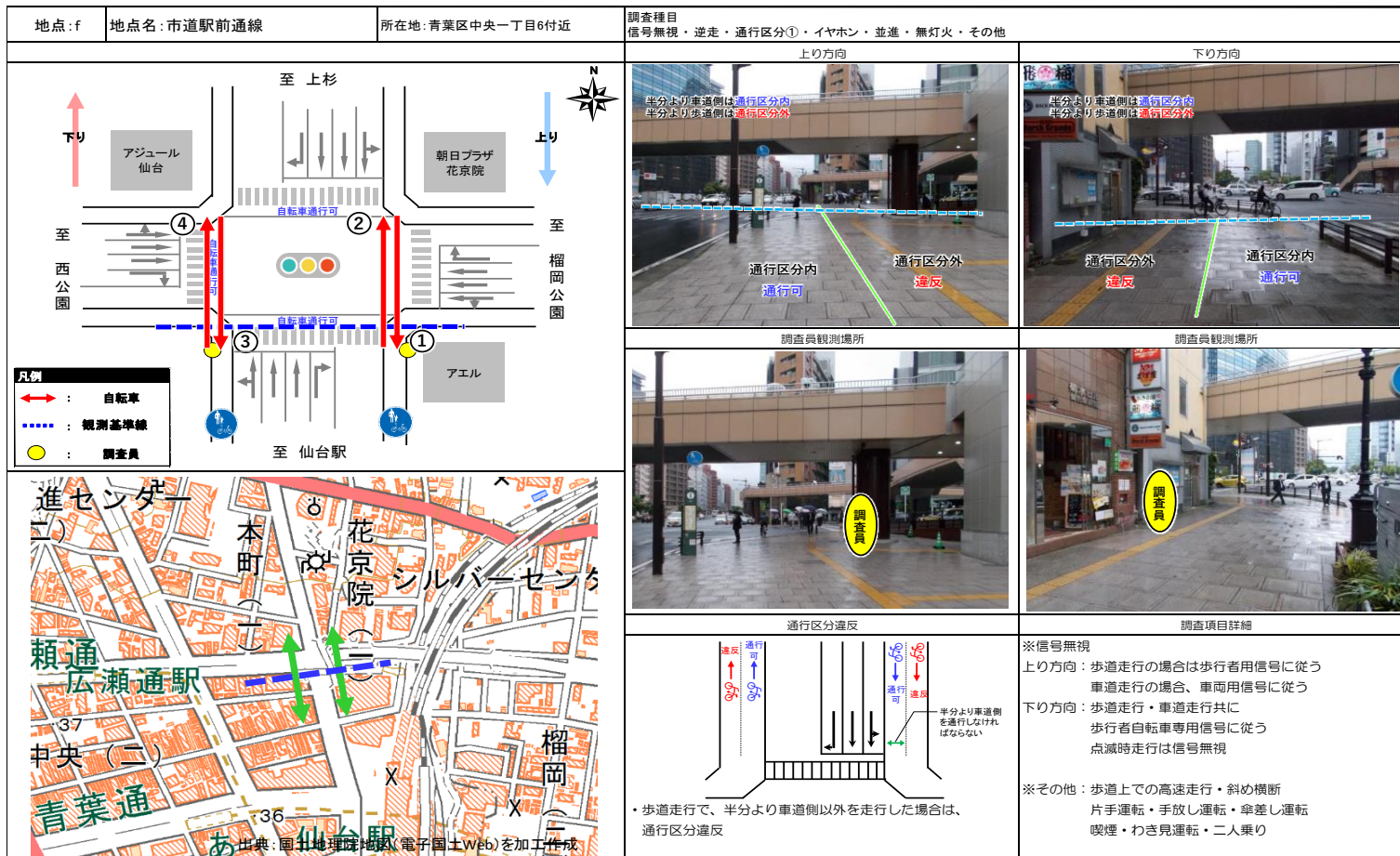
調査地点別違反有無割合 ■ 違反なし ■ 違反あり



調査地点別違反内容割合 ■ I 信号無視 ■ II 逆走 ■ III 通行区分 ■ IV イヤホン等 ■ V 並進 ■ VI 無灯火 ■ VII 押し歩き ■ VIII その他



3 地点 f 市道駅前通線



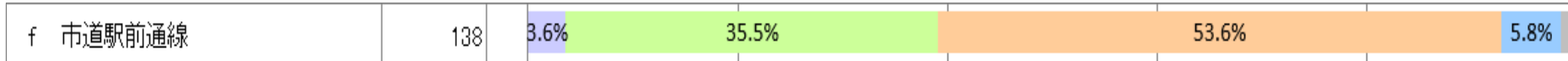
違反率
24.7%

主な違反内容
イヤホン使用等
53.6%

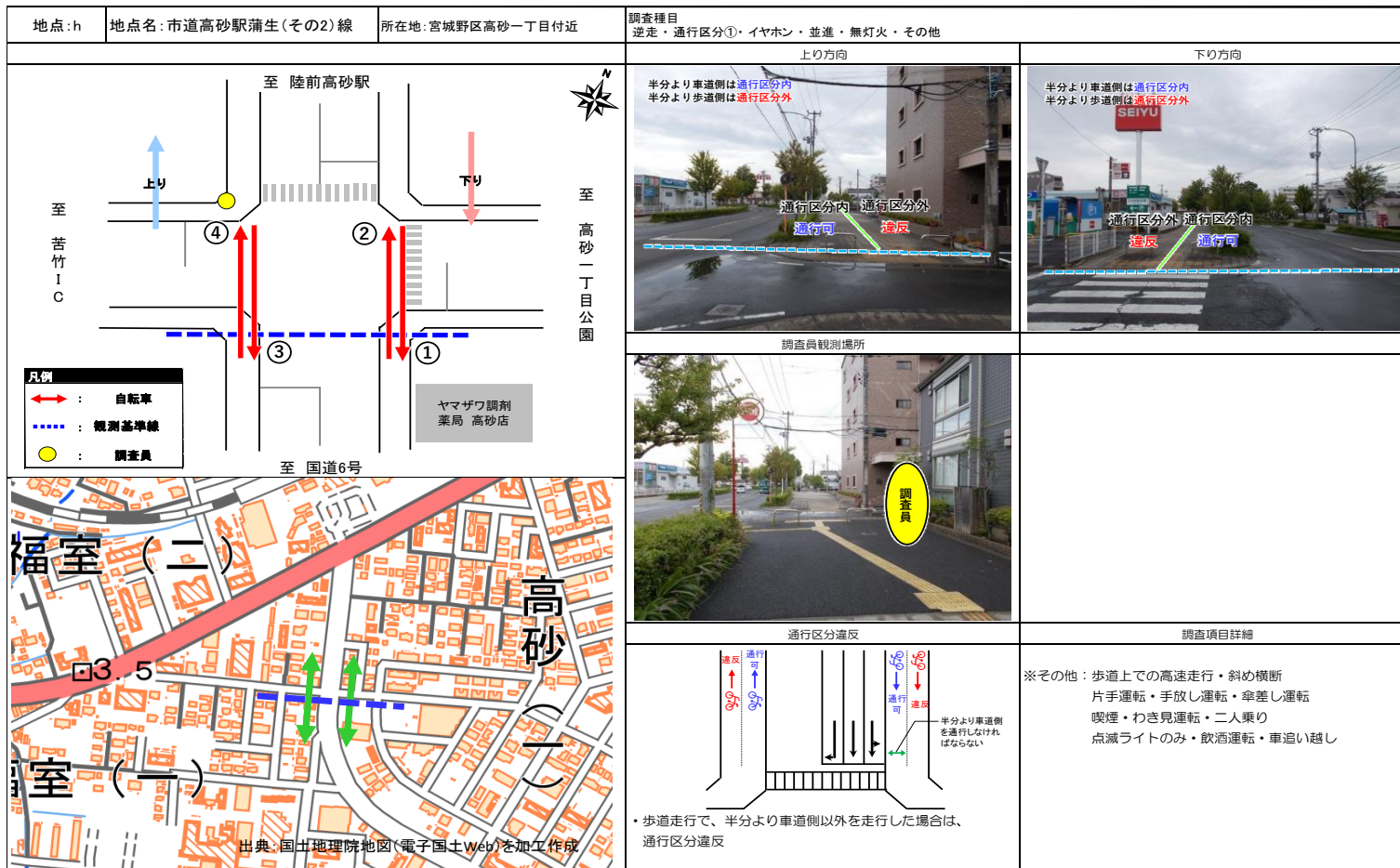
調査地点別違反有無割合 ■ 違反なし ■ 違反あり



調査地点別違反内容割合 ■ I 信号無視 ■ II 逆走 ■ III 通行区分 ■ IV イヤホン等 ■ V 並進 ■ VI 無灯火 ■ VII 押し歩き ■ VIII その他



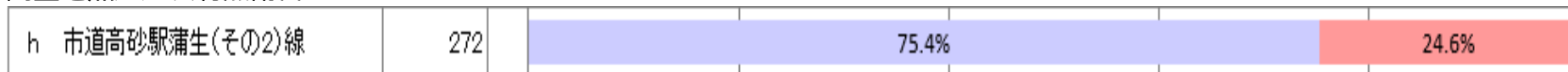
3 地点h 市道高砂駅蒲生線



違反率
24.6%

主な違反内容
通行区分違反
60.8%

調査地点別違反有無割合 ■ 違反なし ■ 違反あり



調査地点別違反内容割合 ■ I 信号無視 ■ II 逆走 ■ III 通行区分 ■ IV イヤホン等 ■ V 並進 ■ VI 無灯火 ■ VII 押し歩き ■ VIII その他



4 まとめ

- ・ 通行区分違反が違反の大半を占めており、自転車通行不可の歩道を自転車が走行している。
- ・ 歩道が自転車通行不可の場合、その地点の違反率は高くなる。
- ・ 自転車は、自動車の通行量が少なく、車道に十分な幅が確保できている地点では、車道を走行する傾向がある。
- ・ 自転車利用者は、原則車道通行であることを理解しつつ、自動車と接触する懸念から歩道を走行すると考えられる。
- ・ 歩行者、自転車利用者が安全に道路空間を共有するには、自転車が安全・安心に走行できる通行空間の整備が必要である。

